

2023年11月20日

2024年-2025年シーズン山岳スキー競技国際競技大会派遣日本代表選手・強化指定選手選考規程
(公社) 日本山岳・スポーツクライミング協会
山岳スキー委員会

I. 権限の所在及び決定の方法

国際競技大会に派遣する日本代表選手・強化指定選手を選考する最終的な権限は、公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会（以下「当協会」という。）にある。派遣選手を選考は、以下の基準に基づき、山岳スキー委員会が推薦し、常務理事会で承認することによって決定する。

II. 日本代表チームの目標

- ① イタリア 2026 冬季オリンピックにおいて出場枠の獲得を目指す。
- ② ISMF ワールドカップ・ISMF 世界選手権大会において上位をとることを目標とする。
- ③ 各種目において日本選手が世界の大会で活躍できる場を創り出す。

III. 2024-2025 シーズン国際競技大会にむけた強化指定選手選考規定

1. 強化指定選手選考方針 2024-2025 シーズン（ISMF 公認大会）の各種目に於いて別表 1 の強化指定選考基準を満たした選手を選考する。
2. 2023-24 シーズンの国内選考大会（ISMF 公認大会）
 - ・第 17 回 SKIMO 日本選手権・INDIVIDUAL（2024 年 2 月 18 日実施予定）
 - ・第 17 回 SKIMO 日本選手権・MIXED RELAY〈タイムトライアル形式〉（2024 年 3 月 16 日実施予定）
 - ・第 17 回 SKIMO 日本選手権・SPRINT（2024 年 3 月 17 日実施予定）
 - ・白馬八方スーパーバーティカル大会（2024 年 3 月 31 日または 4 月 14 日実施予定）
3. その他、ISMF ルール等が変更された場合および大会要項の変更があった場合には、選手選考基準も準じて改定を行う。

別表 1 選手選考クラス分け基準表

1. 選手クラス

S 指定	メダルポテンシャルアスリート（前シーズンのワールドカップスプリントスタンディングス 6 位以内）、ミックスリレー 6 位以内に入ったチーム選手（ペア） 年齢制限なし・最大人数は 1 チームあたり男女別それぞれ 3 名までとする
A 指定	シニア選手【前シーズンのワールドカップスプリント男子 15 位・女子 10 位以内に、ミックスリレー 12 位以内に入ったチーム選手（ペア）】
シニア指定 (21 才以上)	シニア選手（21 才以上）
ジュニア指定 (20 才以下)	ジュニア選手（20 才以下）
* 備考 *	怪我等の理由による特段の事情がある場合には、選考基準を満たさない場合でも追加指定をする場合がある。

2. 強化選手選考規定

S 指定	メダルポテンシャルアスリート（前シーズンのワールドカップスプリントスタンディングス 6 位以内）、ミックスリレー 6 位以内に入ったチーム選手（ペア）
A 指定	シニア選手：前シーズンのワールドカップスプリント男子 15 位・女子 10 位以内に、ミックスリレー 12 位以内に入ったチーム選手
シニア指定 (21 才以上)	①SPRINT シニア 全日本選手権において 3 位以内の選手 ② MIXED Relay W-cup において 13 位～24 位のチーム（ペア） ③ 全日本 MIXED RELAY 個人タイムトライアルで 3 位以内の選手 ④INDIVIDUAL シニア 全日本選手権において 3 位以内の選手 ⑤VERTICAL シニア 白馬八方スーパーバーティカルにおいて 3 位以内の選手 ⑥W-CUP に於いて参加選手のリアルタイム結果 70%以内（小数点以下四捨五入）の順位に入った選手 ※MIXED RELAY は対象外
ジュニア指定 (20 才以下)	①SPRINT ジュニア(U20) 全日本選手権において 3 位以内の選手 ②全日本 MIXED RELAY 個人 タイムトライアルで 3 位以内の選手 ③INDIVIDUAL ジュニア(U20) 全日本選手権において 3 位以内の選手 ④VERTICAL ジュニア(U20) 白馬八方スーパーバーティカルにおいて 3 位以内の選手
育成選手	①該当する大会において 5 位以内に入った選手で、将来的に有望であると強化委員会が認めた選手。

- 国内主要大会とは：全日本選手権・白馬八方スーパーバーティカル大会(ISMF 公認大会)
- 年齢基準（年齢の時期）は ISMF に準ずるものとする。
- 原則権利を得た種目での指定となる。

IV 2024年-2025年シーズン 山岳スキー競技国際競技大会 派遣選手選考規定

1. 本規定は国際競技大会派遣選手選考について定める

- 1 派遣選手は下記の2の基準に基づき当協会が選考する。
- 2 国際競技大会とは：ISMF W-CUP・ISMF 世界選手権を指す。
- 3 年齢基準（年齢の時期）は ISMF に準ずるものとする。
- 4 派遣対象選手が何らかの理由で出場しない場合、当協会の判断に於いて選考規定大会の上位の選手から繰り上げて派遣することができる。
- 5 派遣対象選手の人数が出場枠を上回る場合は、選考大会での順位にて出場選手を決定する。

2. 派遣選手選考規定

シニア（21才以上）	①シニア選手：前シーズン W-cup スプリント男子 15 位・女子 10 位以内 ②MIXED Relay W-cup において 24 位以内のチームの選手 ③SPRINT シニア全日本選手権において 3 位以内の選手 ④全日本 MIXED RELAY タイムトライアルで 3 位以内の選手 ⑤INDIVIDUAL シニア全日本選手権において 3 位以内の選手 ⑥VERTICAL シニア白馬八方スーパーバーティカルにおいて 3 位以内の選手 ⑦W-CUP に於いて参加選手のリザルト 70%以内（小数点以下四捨五入）の順位に入った選手
ジュニア（20才以下）	①SPRINT ジュニア(U20) 全日本選手権において 3 位以内の選手 ②全日本 MIXED RELAY 個人 タイムトライアルで 3 位以内の選手 ③INDIVIDUAL ジュニア(U20) 全日本選手権において 3 位以内の選手 ④VERTICAL ジュニア(U20) 白馬八方スーパーバーティカルにおいて 3 位以内の選手

- 派遣は権利を得た種目を優先するが、その他の種目で欠員がある場合はその限りではない。
- 選考の対象になる大会は：2023-24シーズンの ISMF W-cup および全日本選手権大会・白馬八方スーパーバーティカル大会(ISMF 公認大会)
- ミックスリレー種目の選考については、2023-24シーズンの全日本 MIXED RELAY 個人タイムトライアルおよび、W-Cup ミックスリレーの成績を対象とするが、派遣人数に満たない場合は個人スプリント種目の成績も考慮する。
- 出場枠よりも選手が多い場合、INDIVIDUAL 及び VERTICAL は前シーズンの全日本選手権の順位を優先し、SPRINT、MIXED RELAY については前シーズンの W-cup の最高位を優先する。

V その他の場面の選手選考規定

以上に記載のない場面における選手選考に当たっては、IV記載の選手選考規定を参照しつつ、当該選手選考の目的に応じ、IV記載の選手選考規定の記載とは異なる選考をすることがある。